

## 【熊本S. J. C. D. 例会 抄録】

### 演 題 歯周炎と咬合性外傷の関係を考察したケース

演者名 古田洋介

日 付 2017年11月28日

#### keywords

1. 歯周炎
2. 咬合性外傷
3. 垂直性骨欠損

#### 抄 録

1900年代の前半から、歯周炎と咬合性外傷の関係は長く議論され、個人的には、未だその関係を明確に出来ないまま現在に至っている。

我々は今まで迷うことなく、教科書や諸先輩方の指導に従って、ほぼ同じ診査、診断のもとに、ほぼ同じ歯周治療を行って来たように思う。

私も例外ではなく、資料をとり、初期治療から場合によっては歯周外科へ、そしてメンテナンスへ移行する一つの決まった流れを当たり前で進めてきた。

しかし、今まで術前に1歯毎の細かい診査はまではしておらず、とくに歯周炎と咬合の関係においては、歯周治療上の安静のために、動揺歯の固定や咬合調整を簡易的に行うのみであった。

今回は、歯周炎と咬合性外傷との関係を、過去のケースを通じて、自分なりの考察を交えて発表する。